

平成 28 年度

第 1・第 2 かつしかセンター

事業計画

社会福祉法人原町成年寮

- 1) 利用者支援 ①245名の利用者（平成28年4月1日現在）それぞれの支援に時間を掛けられる様、必要人員の配置等体制作りを行う。
- 居室清掃に特に介入が必要な利用者については、今年度も引き続き清掃担当職員による週一回の清掃と、年数回のチーム単位での大掃除を行う。
- 余暇についてはドロップ等の活用に加え、利用者それぞれの事情やニーズに応じて、チームやユニット単位での企画も実施して行く。
- 第一・第二つばさへのバックアップを、必要に応じて行っていく。
- あらかわセンターについては、利用者に極力配慮した廃止方針を実行していく。
- ②利用者数の多さや高齢化から、医療面での支援もその重要度を増している。医療機関とも連携を図り、利用者の健康管理を行う。
- 高齢者や持病を持つ利用者の今後の生活について、その人にとってより良い生活を続けて貰うにはどうすべきか、部分的な住居改修等も含めて検討し、取り組んで行く。
- 医療や介護等、職員のみでの対応が困難なケースについては、外部サービスも積極的に活用していく。
- ③食事については、味付けや量等改善が必要な場合に適切な対処が行える様、ユニット担当職員が利用者と食事を共にする形を継続する。
- ④一般就労をしている利用者が働き続けられる様、就労担当が中心となって支援を行う。
- ⑤福祉就労をしている利用者について、通所先と連絡を密にし、連携を図る。
- 2) 会議
- | | |
|---------------------------|--------|
| ①第1・第2かつしかセンター全体会議 | 月一回開催 |
| ②第1・第2かつしかセンターサービス管理責任者会議 | 月一回開催 |
| ③チーム会議 | 月二回開催 |
| ④防災委員会会議（他部署と合同） | 必要に応じて |
- 3) 研修
- 利用者支援に活かせる様、外部研修への参加を計画的に実施する。
年4回程度、内部研修を行う。
- 4) その他
- ①第1・第2センター間の連携を、昨年度に引き続き継続して行く。
- ②利用者の権利擁護・虐待防止の徹底。必要に応じて内部又は外部の研修も実施する。
- ③主として火災を想定した避難訓練等を、今年度も各ユニット年間2回以上実施する。

<各チーム、ユニット構成>

第1 かつしかセンター

第一+更紗 T

原町食堂

つばさ

あらかわ+ブランケット

らいふ・かりん

第2 かつしかセンター

公園前 T+第五 T

トマト